

5-1 説明

対策しないと、全部壊してやるぞー！
どーん！！



じしんまん
©やなせたかし

震度と揺れ等の状況

0		[震度0] 人は揺れを感じない。
1		[震度1] 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。
2		[震度2] 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。
3		[震度3] 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。

4

震度4

- ◎ ほとんどの人が驚く。
- ◎ 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- ◎ 座りの悪い置物が倒れることがある。

5弱

震度5弱

- ◎ 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- ◎ 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- ◎ 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

5強

震度5強

- ◎ 物につかまらなると歩くことが難しい。
- ◎ 棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。
- ◎ 固定していない家具が倒れることがある。
- ◎ 補強されていないブロック塀が崩れることがある。



6弱

震度6弱

- ◎ 立っていることが困難になる。
- ◎ 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- ◎ 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- ◎ 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

耐震性が低い木造建物



6強

震度6強

- ◎ はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- ◎ 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- ◎ 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
- ◎ 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

耐震性が低い木造建物



7

震度7

- ◎ 耐震性の低い木造建物は、傾くもの、倒れるものがさらに多くなる。
- ◎ 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- ◎ 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。

耐震性が高い建物 耐震性が低い建物



—地震の震度と揺れ等の状況（概要）—
（出典：気象庁）
自分の地域の震度と揺れの状況を見て、家やブロック塀の耐震化、家具の固定に取組みましょう。